

子ども・若者等からの意見聴取の概要

1. 子ども・若者等からの意見聴取

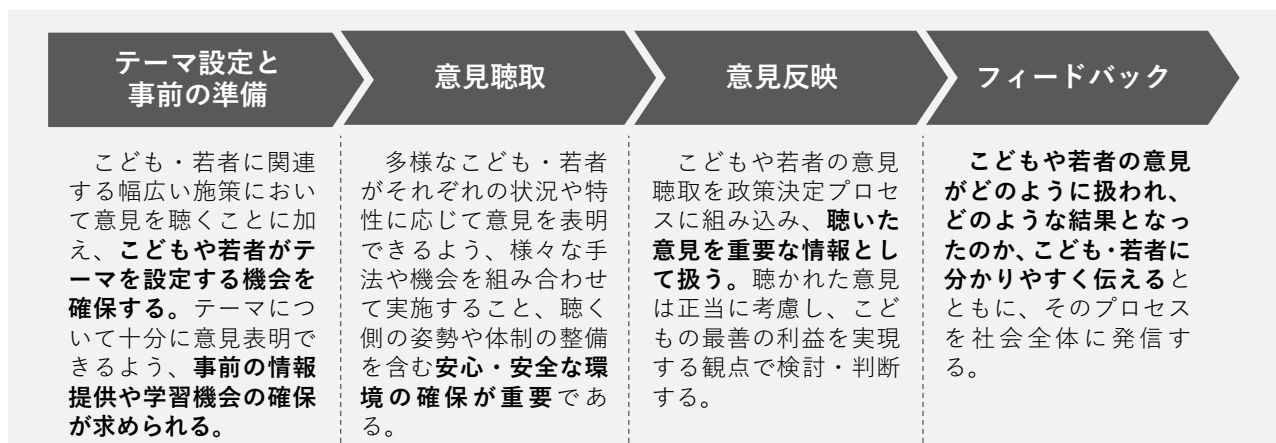
「こども基本法」第十一条では、地方公共団体がこども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たり、こども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずることを求めています。また、「調布市子ども条例」第二十一条でも、子どもとその家庭への支援のあり方について広く意見を聴取し、市民の意見を施策に反映するよう努めることとされています。

国内先進事例の調査や有識者ヒアリング等の各種調査研究結果を受け、今回公表された報告書案において以下のように整理されています。

(1) 「こども基本法」第十一条の概要（地方公共団体に求められること）

- ・地方公共団体は、こども施策の策定・実施・評価するに当たり、こどもや子育て当事者等の意見を聴取して反映させるために必要な措置を講ずるものとする
- ・具体的な措置、意見聴取の頻度等は、個々の施策の目的等に応じて様々であり、地方公共団体の長等は、当該施策の目的等を踏まえ、こどもの年齢や発達の段階、実現可能性等を考慮しつつ、こどもの最善の利益を実現する観点から、施策への反映について判断
- ・聴取した意見が施策に反映されたかどうかについて、こどもにフィードバックすることや広く社会に発信していくことが望ましい

(2) 意見聴取から政策への反映までの考え方やポイント



(3) 子ども・若者等からの意見聴取の手法（例）

「子ども政策決定過程におけるこどもの意見反映プロセスの在り方に関する検討委員会」では、意見聴取の手法として、次のような手法を例示しています。



※ 子ども政策決定過程におけるこどもの意見反映プロセスの在り方に関する検討委員会
「調査研究報告書」204～205 ページ

2. 調布市の子ども・若者等からの意見聴取検討のポイント

子ども・若者等からの意見聴取の検討にあたっては、以下のポイントを踏まえた検討をしていきます。

- 参画する子ども・若者等の選定
- 意見聴取や参画の具体的な手法について
- 意見形成の機会確保にあたって工夫すべきこと
- 子ども・若者等の意見聴取が求められる政策かどうか
- 声をあげにくい子ども・若者等から意見を聴く工夫や配慮事項
- 聴いた意見の政策への反映の検討

子ども・若者等からの意見聴取・意見反映検討（子ども・子育て会議出席課）

調布市子ども・子育て会議
子ども生活部子ども政策課 資料4

子ども政策課での検討例

意見聴取手法例	テーマ、意見聴取例	施策等への意見反映例	実施可能時期	対象例
ワークショップ（3回程度実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしたら自分の意見や思いについて、自由に言えるようになると思うか（子ども・若者が市政に気軽に想いや考えを伝えるにはどんな仕組みがあるといいか、どんなことを市にしてほしいか） ・ 子どもの権利が守られるためにどんな仕組みがあればいいか（どんなことを市にしてほしいか） ・ 休日や放課後の居場所（国の居場所指針を受けて、どんなところが居場所となるか、どんな遊びができる場所、だれと過ごしたいか、いつ過ごしたいか（どこで、だれと、どのように）など） ・ 計画の基本理念 ※調布市子ども条例が目指す基本理念とは別に子どもたちが考える市町村子ども計画の基本理念	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話やSNS、メールなどで相談窓口の設置 ・ 子どもの意見表明の機会 意見発表会の検討（子ども会議や子ども委員会、子どもオンブズマンなど） ・ 子どもの権利の周知啓発リーフレット作成、毎年の周知、貸与タブレットでの周知、子どもの権利月間の設定など ・ 居場所の定義、居場所づくりの検討 ・ 調布っすこやかプランの子ども・若者からの意見聴取による基本理念を計画に掲載など 	R6年の春休み・夏休み期間など	小・中・高・大など
アンケート（ニーズ調査）	子ども・子育て支援に関するニーズ調査	子ども・子育て支援事業計画、次世代等に集計結果の反映	R5年12月22日～R6年1月12日に実施予定	就学前・小学生
委員会審議会等への参画	子ども・子育て会議への大学生市民委員の委嘱	会議での意見を計画や施策に意見反映	R5年4月から実施済み	大学生
子ども・若者向けのバブコメ	子ども・若者向けのバブコメ ※子ども向けの概要素案作成の必要	計画に意見反映	R6年11月ごろ	未就学児保護者・小・中・高・大など
バブコメ	通常のバブコメ	計画に意見反映	R6年11月ごろ	一般市民
ヒアリング、懇談	活動の内容、困っていること、市に臨むこと（今ある施策の拡充や新しい取り組みなど）	施策・計画に反映	内容や対象が決まれば随時	児童養護施設、フォスタリング、子ども食堂、子育て活動助成団体、プレセン、まんまるなど +職員や団体を通じて利用者や子どもに
その他： ・ テーマを決めて市報・市HPで募集 ・ LINEによる意見募集箱 ・ 意見聴取・反映したい内容があれば、小・中学校に協力してもらい、アンケートやグループワークなど				

児童青少年課での検討例

意見聴取手法例	テーマ、意見聴取例	施策等への意見反映例	実施可能時期	対象例
利用者ヒアリング	子ども・若者総合支援事業「ここあ」の居場所事業におけるやりたいことなど	・スポーツの実施（バドミントン、卓球、サッカー） ・利用者の得意なことを活かした教室の実施（レジン制作、絵画教室、筋トレ教室） ・利用者が居場所スペースに欲しい物（ゲームソフトなど）の購入	月1で利用者会議を実施	子ども・若者総合支援事業「ここあ」の居場所事業利用者
アンケート（ニーズ調査）	子ども・若者支援に関するニーズ調査	・子ども・若者計画に反映	R5年12月22日～R6年1月12日に実施予定	中高、高卒～39歳以下
子どもたちのやりたいことアンケート	児童館において、模造紙を掲示し、そこに子どもたちのやりたいことを書いてもらう。	・児童館まつり等の事業に反映させる。 ・児童館使用のルールに反映させる。	冬休みから実施予定	児童館利用者
子どもたちのやりたいことアンケート	児童館において、模造紙を掲示し、そこに乳幼児の保護者にやりたいことを書いてもらう。	・子育てひろば事業に反映させる。	冬休みから実施予定	児童館利用乳幼児及び保護者
あそびバのやりたい遊びアンケート	あそびバでやりたいあそびについて、あそびバのニュースにQRコードを付けて、webで保護者を通じて回答してもらい、児童の意見を聞く。	・あそびバ事業に反映させる。	R6.1～3月位実施予定	あそびバ利用児童（学区区域居住の小学生）
あそびバアンケート	学校で児童にアンケート用紙を配り、利用状況、満足度、入退室管理システムについて、あそびバ以外の過ごし方、利用延長についてlogo-homeで保護者を通じて児童の意見を聞く。	・あそびバ事業に反映させる。	R6.1～2月位実施予定	あそびバ利用児童（学区区域居住の小学生）
学童クラブ利用者アンケート	学童クラブに在籍する児童にアンケートを配って、満足度、利用時期、メール配信システム、学童クラブを選んだ理由についてlogo-homeで保護者を通じて児童の意見を聞く。	・学童クラブ事業、システム改善などに反映させる。	R6.1～2月位実施予定	学童クラブ利用者
あそびバ投票箱	あそびバに読みたい本や漫画についての投票箱を設け、紙に記入して投票してもらう。	・本の購入や、図書館の除籍本を譲り受けたり、貸し出しをうけたりして手配する。	R7位実施予定	あそびバ利用児童（学区区域居住の小学生）

子ども家庭課での検討例

意見聴取手法例	テーマ、意見聴取例	施策等への意見反映例	実施可能時期	対象例
関係機関・利用者懇談等	子どもの学習支援に関するニーズ調査	・聴取した内容に基づく検討・改善など	受験終了後の3月ごろ実施可能	子ども・若者総合支援事業「ここあ」の利用者等
アンケート ひとり親アンケートなど	ひとり親世帯に対する経済事情、養育費、困っていること、事業の認知度等の調査	・施策・計画に反映	現況届提出の8月ごろ実施可能	ひとり親家庭等医療費助成制度、児童扶養手当、児童育成手当の対象世帯等

保育課での検討例

意見聴取手法例	テーマ、意見聴取例	施策等への意見反映例	実施可能時期	対象例
関係機関・利用者懇談等	保育園等の運営について 民間施設長会、幼稚園園長会等	施設運営および支援に反映	随時	一時預かり施設、病児保育、定期利用保育、幼稚園、保育所、その利用者など
ヒアリング 保育園協会、幼稚園協会等からの要望やヒアリングなど	保育園等の運営について 民間施設長会要望書、幼稚園協会要望書等	施設運営および支援に反映	随時	一時預かり施設、病児保育、定期利用保育、幼稚園、保育所、その利用者など
アンケート 保育園等へのアンケートなど	第三者評価	施設運営に反映	随時	保育所利用者など

健康推進課での検討例

意見聴取手法例	テーマ、意見聴取例	施策等への意見反映例	実施可能時期	対象例
面談、訪問時のヒアリング ゆりかご、赤ちゃん訪問、オンライン相談など	・日常生活を通じて、こういった環境やサービスがあるといいか ・妊娠期・各参加の年齢の保護者の必要と感じるサポート、悩み、困りごと	・既存の支援や事業の改善や拡充の検討	・随時(集中的に意見を集めるのであれば、妊婦だと「ゆりかご面接」、出産後は「赤ちゃん訪問」がいいが、「赤ちゃん訪問」は時間の制約があるため、ヒアリングよりもアンケートの方がいいかも。	妊婦、パートナー、未就学児保護者など
交流会、講座、教室参加時のヒアリング、参加者へのアンケート	・多胎児を育てる上で困りごと、あるといいな話 ・妊娠期・各参加の年齢の保護者の必要と感じるサポート、悩み、困りごと ・子どもたち自身が身体や健康について知りたいと思っていること	・既存の支援や事業の改善や拡充の検討	・教室開催時(ふたごみつご：年5回/スキンケア・アレルギー教室：隔月/もぐもぐ・ママパパ毎月) ・夏休みの学童クラブ出前講座、食育マイスター講座	・多胎児を養育する家族 ・妊婦とそのパートナー ・乳児家庭の養育者 ・学童クラブ利用児童、マイスター参加児童、保護者
アンケート 妊娠8か月アンケート(妊娠後期アンケート)、ファーストバースデーサポートなど	・妊娠期・各参加の年齢の保護者の必要と感じるサポート、悩み、困りごと	・既存の支援や事業の改善や拡充の検討	随時	妊婦、未就学児保護者